第1.1版

2018年8月14日



PJ名 :

■Entryクライテリア 審査タイミング:

【クライテリアマネジメントの考え方・観点】
・バートナー、顧客(含む業務部門、顧客と契約しているペンダ等)とクライテリア項目を共有するため、責任者をPJ、パートナー、顧客に区別。
(顧客と共有する場合には、バートナー欄は不要)
・途上管理、未達管理の実践。
・各項目に対してクライテリア判定を4段階にて実施。
・各工程で評価を定量化し、PJ/部門にて総合判定を実施。

												時点
			評価	İ]	P	J/部門総合判定			総合コメント
定	0	0	Δ	×	1	Ħ	7		合格			
數	0	0	0	0		0	7		条件付き合格			
平価	@+	⊦Oの	個數	V 100	0% =		1		不合格			
ТІЩ		体の個	数	^ 100						-	_	
						$\overline{}$	_		_			

記入者

承認顧客

PJ

で評価を定量化し、PJ/部	IN II CAS ET IX	とと失能。	L	王神の個数		_			L- /-		
				<u> </u>	リア判定前の管理		クライテリア判定実施		クライテ	・リア判定後の管理	
No 大項目 N	No 中項目	開始基準 No 小項目	分類	進歩 課題	途上管理 進参・課題に対する状況報告	判定	判定 判定 制定理由(達成根拠)	期限 進	参 完了	未運管理 『日 進歩ステータスに対する状況報告	備考(補足説明、エピデンス資料等)
上クト統合マネジメント											
1 プロジェク	ハ官埋 1 プロジェクト管										
2 顧客契約	4 ******	1 プロジェクト管理計画の管理ルールや意思決定ルールが明確になっており、顧客と合意がとれている。	0								
	1 契約プロセス	1 見積り確定~契約締結~注文書受領までのブロセスを顧客と合意している。	0								
	2 契約内容及び	1 受注範囲、契約形態、受注金額を合意している。	0								
		2 顧客との役割分担、責任範囲を合意している。 3 成果物が定義されており、承認者と納品計画、検収条件を合意している。	0			+					
		4 開発設備(インフラ、開発ツール、開発場所*PJルーム)の手配、及び費用負担について合意している。 5 瑕疵担保責任の対象、起算日、期間が明確になっている。	0								
	3 受注	1 顧客承認を得、注文書を受領している。	0								
3 クライテリ	アマネジメント計画	2 仮受注の場合、法的効力のある文書を顧客から受領している。	0								
	1 クライテリアマ	マネジメント計画 1 クライテリアを審議する経営層レベルの定例会(スアリングコミッティ等)の設置が顧客と合意している。	0								
		2 Entry/クライテリア、Exitクライテリアが顧客と合意されている。 3 クライテリア項目の達成度合いを途上管理するルールが設定されている。	0								
<u></u> □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	176	4 クライテリア項目の審査計画が明確になっている。	ě			-					
1 スコープ妥	妥当性 1 顧客要件										
	I MRT XII	1 要件のINPUT(ex. RFP、現行調査結果、FIT&GAP結果、グランドデザイン、提案書)が明確になっており、INPUTの正当性が確認できている。 2 業務要件は確定しており顧客に承認を得ている。	0								
		2、米代安下にも歴史としなり報告であると呼じいる。 3システムを理化と確定しており顧客に未認を得ている。 4 非機能要件は確定しており顧客に承認を得ている。	0								
		4 开坡航空杆は加速としての場合に小島で行じている。 5 各要件に対して、顧客側業務部門と合意がとれている。 6 パックログが作成されている。	0								
2 スコープコ	コントロール	り、パックログルツ下灰されている。	0								
	1 変更管理	1 仕様変更事項の対応方針(方針、対応者、期限)を顧客と合意している。	Ŏ								
	2 移行・展開計	2 仕様変更案件の取り込みが完了している。 画の見極め 14を合わればなっている。 ************************************	0								
		「移行対象が明確になっている。(データ移行、システム移行、業務移行) 2 移行に関わる業務制約(内容、期間)が明確になっており、関係者に合意されている。	0								
ログト・タイム・マネジメント 1 スケジュー	ール管理										
	1 全体計画	1 マスタースケジュールと進め方を顧客と合意している。	OP								
		2 中日程計画が作成されている。 3 スケジュールの見直しが必要な場合、見直しについて顧客と合意している。	OP OP								
	2 作業計画	1 小日程計画が作成されている。	●P								
2 移行計画	1 移行作業										
		1 移行スケジュールが明確になっている。 2 移行所要時間の実測結果が制限時間内であることが確認済である。	0								
		3 移行作業手順が確立されている。 4 移行可否判断(チェック)ポイントが設定されている。	0								
	2 コンティンジェ										
		1 15 11 F	0			\perp					
	3 本番稼動後フ	フォーン・ファルン・コールル mia 立ていている。 フォロー 1 本番切替後の検証計画が明確になっている。(検証範囲、検証対象物、規模、体制、期間、タイミング)	OP								
	4 事業継続計画	TATE 財団 はない 交配の1回が つなになっている。 (交配 和四、交配 内外 70、及(大・下列、 70回、 70回、 70回)	0								
cクト・コスト・マネジメント 1 コスト管理	F	「DUC(平音体別後の呼音に関えたデ末機械自由/ガ、来たCがじゅ。									
1 1/1 6/2	1 見積り	1 見積り前提と見積り確定までのプロセスが顧客と合意している。	0								
		万成りの後と、天明の場とを、歌とした人が滅せられたしている。 2 見積り金銭・見積り削減を観客と含態とている。 3 見積り金銭が顧客予算内に収まっているか。 超過している際の追加費用、もしくは要件削減が合意されている。 4 複数の見積り手法で検証を行なっている。またその結果大きなギャップが無いことを確認している。	0								
		3 見様が重視が解析で非例に収まりているが。 起題している際の重加責用、もくれる女性的感が一起されている。 4 複数の見載り手法で検証を行なっている。またその結果大きなギャップが無いことを確認している。 5 原価明細と利益計画の妥当性が見極められている。	•								
こクト品質マネジメント		り、京画的を記しませた。									
1 品質管理	1 前工程の完了	7 tt is									
		1 前工程の成果物は顧客レビューの上、承認されている。 2 前工程でサブンステム横断の残課題、及びサブシステム内の重大な残課題がない。	OP OP								
		3 前工程での積み残し事項の対応方針(方針、対応者、期限)を顧客と合意している。 4 運用設計・手順書が完成しており、検証されているか。(システム管理/オペレーション)	OP O								
	2 前スプリントσ	5 運用設計・手順書が完成しており、検証されているか。(業務運用管理/業務オペレーション) D完了状態	0								
		前スプリントまでの成果物は顧客レビューの上、承認されている。 2 前スプリントでサブシステム横断の残課題、及びサブシステム内の重大な残課題がない。	OP OP OP								
		3 前スプリントでの積み残し事項の対応方針(方針、対応者、期限)を顧客と合意している。 4 連用設計・手順書が完成しており、検証されているか。(システム管理/オペレーション) 5 連用設計・手順書が完成しており、検証されているか。(業務運用管理/業務オペレーション)	OP O O								
	3 設計レビュー										
	4 テスト運営	1 設計レビューの方法、体制、実施時期を顧客と合意している。	0								
		1 テスト運営手順(テスト体制、会議体、実行・検証手順、データ入力、エピデンス取得 等)が確定している。 2 現行機能踏襲部分、及び追加・変更機能部分のデグレード確認手順が確定している。	●P ●P								
	5 結合テスト仕	様	OP								
		1結合テスト仕様(ケース、シナリオ)の見直しを行い、顧客レビューの上、承認されている。 2 結合テスト仕様(ケース、シナリオ)には、外部機関、周辺システムとの調整が完了している。 3 テストケース密度の妥当性が評価されている。	O ●P								
	6 システムテス	ト仕様 1 システムテスト仕様(ケース、シナリオ)の見直しを行い、顧客レビューの上、承認されている。	OP								
	7 品質管理	2 テストケース密度の妥当性が評価されている。	● P								
		1 PJ特性を考慮した品質目標が設定できている。 2 レビュープロセス(レビュー観点、適切なレビューアのアサイン 等)が明確になっている。	OP OP								
		3 未解決なものは取り扱い方針について顧客と合意がとれている。	0								
	8 要件の達成状	犬態									
		1 要件定義で定義した業務機能要件を満足している。 (受入テスト(UAT)等で顧客検証が完了しており、対応方針(取り込み完了or本番リリース後の対応等)が確定) 2 要件定義で定義した非機能要件を満足している。(性能要件含む)	0								
O D see en in		2 安件定義で定義して非規能受件を満定している。(性能安件首も) 3 本番リリース迄に取り込む方針の仕様変更が全件取り込まれ、テストが完了している。	0								
2 品質評価	1 品質評価結果	果の妥当性検証									
		1 品質評価結果について、妥当性が検証されている。 2 品質評価結果について、顧客に承認されている。	●P OP								
cクト人的資源マネジメン 1 体制・要員	Ę.										
	1 体制	1 要員が明確になっており、手配できている。	● P								
		2 PJ体制が確定している。 3 要員のスキルが充足している。(業務知識、開発経験)	●P ●P								
		4 本番連絡体制、手順が明確化されている。(障害時の連絡先、連絡ルート設定等) 5 業務・システム連用体制が確立できている。(引継作業、または引継計画の完了を含め)	OP ●P								
		6 アプリケーション保守体制が確立できている。(引接件業、または引線計画の完了を含め) 7 上記以外のS/Wベンダ、H/Wベンダ保守体制が確立できている。	OP OP								
_	2 調達	1 派遣要員、外部調達、内部調達が完了している。	•								

・・コミュニケーション 1 コミュニク	ルフな びか た			
	ン・マネシメント ケーション管理			
	1 顧客			
	1 情報伝達手段を顧客と合意している。	0		
	2 会議体(目的、報告内容、頻度、出席者)を顧客と合意している。 2 外部委託先	0		
	2 プログラロング 情報伝達手段をパートナーと合意している。	● P		
	1 情報伝達手段をパートナーと合意している。 2)会議体(目的、報告内容、頻度、出席者)をパートナーと合意している。	●P		
	3 関連システム			
	1 情報伝達手段を関連システムと合意している。	0		
	2 会議体(目的、報告内容、頻度、出席者)を関連システムと合意している。 4 本番移行時	0		
	* 本番移行連絡ルートが確立されており、関係者に展開されている。	OP		
・・リスク・マネジメン		0.		
・・リスク・マネジメン 1 課題				
	1 課題の対処			
01175	1 未解決課題が0件である。未解決課題については解決目処がついている。	OP		
2 リスク	1 リスクの洗い出し			
	1 リスクー覧表は作成されており、リスクの洗い出し、及び影響度の判別ができている。	OP		
	2 リスク対策	Ŭ.		
	1 影響度の大きいリスクに対し、対策がとられている。	OP		
・調達マネジメント				
1 プロダク	ト調達管理			
	1 利用技術のリスク見極め			
2 州部悉記	1 提案前提のパッケージやツールはリスケが見極められている。また、新規の場合は、リスク対策が講じられている。 狂契約(S/Wベンダ、H/Wベンダ、関連会社を含む)	0		
2 71 41/35 11	1 契約プロセスの合意			
	1 見積り確定~契約締結~注文書受領までのプロセスをパートナーと合意している。	●P		
	2 契約内容及び契約形態			
	1 受注範囲、契約形態、受注金額を合意している。	●P		
	2 パートナーとの役割分担、責任範囲を合意している。 3 成果物が定義されており、承認者と納品計画、検収条件を合意している。	●P ●P		
	3 原来物力上載されらの3、本記台と物面計画、快収末計を言思しらい。 4 瑕疵却足襲性の対象、起算日、期間が明確になっている。	●P		
	3 見積り			
	1 見積り前提をパートナーと合意している。	●P		
	1 見積り前提をパートナーと合意している。 2 1 原価明細と利益計画の妥当性が見極められている。	●P		
	4 発注	00		
	1 発注条件、発注額をパートナーと合意し、発注書を発行している。 2 仮発注の場合、法的効力のある文書をパートナーに発行している。	●P ●P		
	5 委託管理	→		
	1 進捗定例会、コミュニケーション方法、品質報告、検証計画、開発環境(単体テスト、結合テスト)について、パートナーと合意している。	●P		
··ステークホルダー				
1 顧客				
	1 顧客のPJ体制			
	1 要件を確定させるために必要な体制がられている。	0		
	2 顧客との役割分担、責任範囲を合意している。 2 意思決定体制	0		
	1 顧客の意思決定体制/ルールが顧客と合意済である。	0		
	3 顧客リーダの力量	- V		
	1 社内影響力、決断力、経験、PM力などを備えたリーダである。	•		
	2 PJIC参画する複数ペンダ間の、役割分担や調整等にリーダシップがとれる。	•		
2 関連シス	₹ <u>7</u>			
	1 関連システムとの分担 1 関連システムとの役割分担、責任範囲を合意している。	0		
	2 関連システムの進捗状況			
	1 関連システムのタスクが計画通り完了している。	0		
	3 他システム間L/Fテスト			
	1 他システムとテスト実施日程、実施内容、検証結果報告、不具合対応手順、連絡窓口などの調整ができている。	0		
	4 外部接続テスト 1 外部接続先とテスト実施日程、実施内容、検証結果報告、不具合対応手順、連絡窓口などの調整ができている。	0		
3 顧客業務	1/7FBPIX代ルと7へに大肥口性、大肥的社、快血和木牧ロ、小会日がルナ順、建樹を口みとい過速が、ことでいる。			
0 100 11 11 11				
	1 業務運用に必要な業務マニュアル、操作マニュアルは完成しており、検証されている。	0		
	2 ユーザ研修			
MR 24:36-14	1 システム利用者の研修が完了している。	0		
開発準備 1 四発煙準	the contract of the contract o			
1 開発標準	! 「 1 システム開発標準			
	1 プログラミング標準、SQL標準、ネーミングルール、メッセージ出カルール等が確定している。	0		
2 保守開発	発運用			
1 1 1 1 1 1 1 1	1 本番運用管理			
	1 本番運用手順が確立されている。	0		
	2 障害対応手順が確立されている。	U		
		0		
	2 開発運用管理 1 開発(保守)管理手順が確立されている。			
	1 開発(保守)管理手順が確立されている。	0		
3 環境	1 開発(保守) 管理手順が確立されている。 2 障害対応手順が確立されている。			
3 環境	1 開発(保守)管理手順が確立されている。 2 障害対応手順が確立されている。	Ö		
3 環境	1 開発(保守)管理手順が確立されている。 2 障害対応手順が確立されている。 1 環境構築 1 プログラミング・単体テストを実施するための環境が構築されている。(データペース・ライブラリの生成を含む)	Ŏ •P		
3 環境	「開発(保守)管理手順が確立されている。 2 障害対応手順が確立されている。 3 環境構築	Ö		
3 環境	I 開発(保守)管理手順が確立されている。 2 障害対応手順が確立されている。 2 障害対応手順が確立されている。 3 ブログラミング・単体テストを実施するための環境が構築されている。(データベース・ライブラリの生成を含む) 2 総合テストを実施するための環境が構築されている。(データベース・ライブラリの生成を含む) 3 テストデータが作成され、結合テスト環境に設定されている。 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	●P ●P ●P		
3 環境	□ 開発(保守)管理手順が確立されている。 □ 障害対応手順が確立されている。 □ 障害対応手順が確立されている。 □ 環境構築 □ プログラミング・単体テストを実施するための環境が構築されている。(データベース・ライブラリの生成を含む) □ 総合テストを実施するための環境が構築されている。(データベース・ライブラリの生成を含む) □ 3・テストデータが作成され、総合テスト環境に設定されている。 □ 4 総合テスト環境の稼働確認ができている。 □ 5・システムチストを実施するための環境が構築されている。(データベース・ライブラリの生成、ジョブ登録を含む)	© P		
3 環境	「開発(保守)管理手順が確立されている。 2 障害対応手順が確立されている。 2 障害対応手順が確立されている。 3 ブログラミング・単体テストを実施するための環境が構築されている。(データベース・ライブラリの生成を含む) 2 総合テストを実施するための環境が構築されている。(データベース・ライブラリの生成を含む) 3 テストデータが作成され、結合テスト環境に設定されている。 4 総合テスト環境の経験確認ができている。 4 総合テスト環境の経験確認ができている。 5 システムテストを実施するための環境が構築されている。(データベース・ライブラリの生成、ジョブ登録を含む) 6 テストデータが作成され、システムテスト環境に設定されている。	●P ●P ●P		
3 環境	I開発(保守)管理手順が確立されている。 2 障害対応手順が確立されている。 2 障害対応手順が確立されている。 1 環境構築	©		
3 環境	I開発(保守)管理手順が確立されている。 2 障害対応手順が確立されている。 2 障害対応手順が確立されている。 1 環境構築	© P P P P P P P P P P P P P P P P P P P		
3環境	I 開発(保守)管理手順が確立されている。	©		
3 環境	I 開発(保守)管理手順が確立されている。	© P P P P P P P P P P P P P P P P P P P		
3 環境	1 開発(保守)管理手順が確立されている。 2 障害対応手順が確立されている。 2 障害対応手順が確立されている。 2 結合テストを実施するための環境が構築されている。(データベース・ライブラリの生成を含む) 2 結合テストを実施するための環境が構築されている。(データベース・ライブラリの生成を含む) 3 テストデータが作成され、結合テスト環境に設定されている。 4 結合テスト環境の移動確認ができている。 5 システムケストを実施するための環境が構築されている。(データベース・ライブラリの生成、ジョブ登録を含む) 6 テストデータが作成され、システムテスト環境に設定されている。 7 システムテスト環境の移動確認ができている。 8 本番環境が構築されている。(データベース・ライブラリの生成、ジョブ登録を含む) 9 本番用データが作成され、本電環境に設定されている。 10 本番環境の移動値認ができている。 11 保守開発環境が構築されている。(データベース・ライブラリの生成、ジョブ登録を含む) 11 保守開発環境が構築されている。(データベース・ライブラリの生成、ジョブ登録を含む) 11 保守開発環境が構築されている。(データベース・ライブラリの生成、ジョブ登録を含む) 11 保守開発環境が構築されている。(データベース・ライブラリの生成、ジョブ登録を含む)	O		
3 環境	□ 開発(保守)管理手順が確立されている。 □ 障害対応手順が確立されている。 □ 障害対応手順が確立されている。 □ 関害対応手順が確立されている。 □ 対のイラミング・単体テストを実施するための環境が構築されている。(データベース・ライブラリの生成を含む) □ 注合テストを実施するための環境が構築されている。(データベース・ライブラリの生成を含む) □ オストデータが作成され、結合テスト環境に設定されている。 □ お台テスト環境の接触値ができている。 □ ドンステムテスト環境に設定されている。(データベース・ライブラリの生成、ジョブ登録を含む) □ デストデータが作成され、システムテスト環境に設定されている。(データベース・ライブラリの生成、ジョブ登録を含む) □ ドストデータが作成され、システムテスト環境に設定されている。 □ 本番環境が構築されている。(データベース・ライブラリの生成、ジョブ登録を含む) □ 本番環境の稼働値影ができている。 □ 体番環境の稼働値影ができている。 □ 保守開発環境が構築されている。(データベース・ライブラリの生成、ジョブ登録を含む) □ 保守開発用データが作成され、保守開発環境に設定されている。 □ は、ジョブ登録を含む) □ 保守開発用データが作成され、保守開発環境に設定されている。 □ は、ジョブ登録を含む) □ は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	© P P P P P P P P P P P P P P P P P P P		
3 環境	I開発(保守)管理手順が確立されている。 2 障害対応手順が確立されている。 2 障害対応手順が確立されている。 1 プログラミング・単体テストを実施するための環境が構築されている。(データベース・ライブラリの生成を含む) 2 結合テストを実施するための環境が構築されている。(データベース・ライブラリの生成を含む) 3 テストデータが作成され、結合テスト環境に設定されている。 4 結合テスト環境の稼働確認ができている。 5 システムテストを実施するための環境が構築されている。(データベース・ライブラリの生成、ジョブ登録を含む) 6 テストデータが作成され、システムテスト環境に設定されている。 7 システムテストス 環境の稼働確認ができている。 8 本番環境が構築されている。(データベース・ライブラリの生成、ジョブ登録を含む) 9 本番用データが作成され、本番環境に設定されている。 10 本番環境の稼働確認ができている。 11 保守開発環境が構築されている。(データベース・ライブラリの生成、ジョブ登録を含む) 12 保守開発環境が構築されている。(データベース・ライブラリの生成、ジョブ登録を含む) 13 保守開発環境の稼働確認ができている。 14 保守開発環境の稼働確認ができている。 15 保守開発環境に設定されている。 16 保守開発環境の稼働確認ができている。	O		
3 環境	「開発(保守)管理手順が確立されている。 「関連特徴	O P P O P O P O P O P O P O P O P O P O		
3 環境	I 開発(保守)管理手順が確立されている。 2 障害対応手順が確立されている。 1 環境構築	O		
3 環境	I 開発(保守)管理手順が確立されている。 2 障害対応手順が確立されている。 1 環境構築	O O O O O O O O O O O O O O O O O O O		
	I 開発(保守)管理手順が確立されている。 2 障害対応手順が確立されている。 1 環境構築	O P P O P O P O P O P O P O P O P O P O		
▲ 間 桑等语	I開発(保守)管理手順が確立されている。 2 障害対応手順が確立されている。 1 環境構築	O O O O O O O O O O O O O O O O O O O		
▲ 間 桑等语	I開発(保守)管理手順が確立されている。 2 障害対応手順が確立されている。 1 環境構築	O O O O O O O O O O O O O O O O O O O		
▲ 間 桑等语	I 開発(保守)管理手順が確立されている。 2 障害対応手順が確立されている。 1 環境構築	O O O O O O O O O O O O O O O O O O O		

【分類】	
0	顧客共有
•	PJ内部
Р	パートナー共有

●途上	管理	●判定		●未達	管理					
【進捗】		【判定】		【進捗】						
0	前倒し		達成済み	0	前倒し(未達管理上の期限に対し。以下同様)					
0	予定通り	0	達成見込み (予定通り、工程開始、工程完了までに完了)	0	予定通り					
Δ	遅延あり、キャッチアップ見込み (マスタースケジュールへの影響なし)	Δ	達成見込み (遅延、キャッチアップ見込み)	Δ	遅延あり、キャッチアップ見込み (マスタースケジュールへの影響なし)					
×	遅延あり、キャッチアップ困難 *1 (マスタースケジュールへの影響あり)	×	達成困難 *1	×	遅延あり、キャッチアップ困難 *1 (マスタースケジュールへの影響あり)					
-	評価時期未到来			_	評価時期未到来					
【課題】		*1	スケジュール変更、体制増強、機能削減等	の根本対	対策が必要。					
0	課題なし		状況次第により経営レベルでの調整が必要	Ę.						
0	課題あり、解決見込み(リスク小)									
Δ	課題あり、解決見込み(リスク大)									
×	課題あり、解決困難 *1									

PJ名 :

ー ■Exitクライテリア 審査タイミング:

【クライテリアマネジメントの考え方・観点】
バートナー、顕客(おむ東務側門、顕客と設けているペンダ等)とクライテリア項目を共有するため、責任者をPJ、バートナー、顕客に区別。
(顕定共有する場合には、バートナー機は不要)。
途上増理、未遂智率の実施。
・各項目に対してクライザリア弾度を根側にて実施。
・各工程で評価を定量化し、PJ/部門にて総合判定を実施。

									時点 犯入者		
			評価	i		٦	P	J/部門総合判定	総合コメント	淨	永認
判定	0	0	Δ	×	計	7		合格		顧客	PJ
個數	0	0	0	0	0	7		条件付き合格			
評価	0-	+O0	個數	~ 10	0% =			不合格			
FT 44	1	体の	數	^ 10	UM —	'			•		

けしてクライテリア‡ F価を定量化し、PJ	定を4段階にて実施。 /部門にて総合判定を9	実施 。		評值	全体の	────────────────────────────────────						•
						クライテリア判定前の管理	>>	- 2	ライテリア判定実施	クライテ	リア判定後の管理	-
大項目	No 中項目	No No	開始基準 小項目	分類	29 R	途上管理 追参・課題に対する状況等	l e	税金	刊定 判定理由(達成複集)	親屋 遺跡 完了日	未通管理 追参ステータスに対する状況報告	備考(補足説明、エピデンス資料等)
ト統合マネジメント	1.444											
1 -1±0100	1 開発スケジュー	-ル全体のフィジビリティ 開発スケジュールが記載され、そのフィジビリティが確認されてし	١٥,									
		開発スケジュールが配載され、そのフィジビリティが確認されてし (外部機関、周辺(関連)システム等、担当範囲外のタスクとの整 1 例)超短期PJなど、要件や必要工数に比べての開発期間の妥当	合性を含めたフィジビリティ) 6性が検証済みである。	0								
		各工程に余裕があるか無いか確認している。 複数工程の並行実施や顧客側のタスク進捗の影響など、特 2 仕様変更や保守開発における並走案件の凍結時期が、顧客とき	C者底が必要なものがあるかどうか確認している。									
	2 全体テスト計画		ョ 恋されている。 2割分担、合否判定基準などの概要が明確になっている。(外部機関、周辺システム等	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○								
	3 システムテスト	計画 1 システムテストの基本方針 スケジュール将薬 青仟孝・休剌・紹	を割分担、合否判定基準などの概要が関係者で合意している。(外部機関、周辺システ									
	4 結合テスト計画	1 システムテストの基本方針 スケジュール網亜 青仟老・休制・役	な割分担、合否判定基準などの概要が関係者で合意している。(外部機関、周辺シス-									
2 PJ管理計画	5 単体テスト計画	1 単体テストの計画と仕様が作成されている。		OP								
2 F3管理計画	1 PJ管理方法の	確定 IPJ管理計画の管理ルールや意思決定ルールが明確になってお	り、関係者と合意がとれている。	OP								
3 クライテリア	1 クライテリア項	1										
ト・スコープ・マネジ 1 要件	メント	1 Entryクライテリア、Exitクライテリアが顧客と合意されている。		OP								
1 3417	1 業務要件の確認	定 1 要件は確定しており顧客に承認を得ている。未確定部分がある。	場合は、期限と責任の所在が明確になっている。	0								
		1 要件は確定しており顧客に承認を得ている。未確定部分がある 2 未確定部分について、期限超過時の扱いが顧客と合意がとれて 3 各要件に対して、顧客側業務部門と合意がとれている。		0 0 0								
	2 システム要件の	4 現行機能の踏襲/未踏襲が明確化(明文化)され、顧客と合意が 随定		0								
		1 要件は確定しており顧客に承認を得ている。未確定部分がある 2 未確定部分について、期限超過時の扱いが顧客と合意がとれて 3 各要件に対して、顧客側業務部門と合意がとれている。	場合は、規模と見任の所任が明確になっている。 いる。	0 0 0								
	3 非機能要件、ブ			0								
		3.00mmと 1.非機能要件は確定しており顧客に承認を得ている。未確定部分 2.未確定部分について、期限超過時の扱いが顧客と合意がとれて 3.非機能要件に対して、顧客側来務部門と合意がとれている。 4.非機能要件について、検証内容(保証内容)と検証期間(工程)が	NS.	0 0 0								
	4 移行要件(方針	4 非機能要件について、核能内容(特能内容)と核能制制(上程)だ の確定 1 移行対象データの有無と移行要否が確定しており顧客に承認を 2 未確定部分について、開限超過時の扱いが需要と合意がとれて 3 移行元ンステムからのデータ抽出変換に対して、期限と責任のF	が順答と音悪かとれている。 温でいる									
		2 未確定部分について、期限超過時の扱いが顧客と合意がとれて 3 移行元システムからのデータ抽出変換に対して、期限と責任のデ	でもつる。 「いる。 折在が明確になっている。	0								
2 外部設計仕様												
		フェース (画画、 「株房学」 成立 (100m) 1 設計は確定しており願客に承認を得ている。未確定部分がある 2 未確定部分について、期限超過時の扱いが顧客と合意がとれて 3 各設計内容に対して、顧客側業務部門と合意がとれている。 3)ンステム間インターフェース設計の確定	勝台は、規模と責任の所在が明確になっている。 いる。	0 0 0								
	2 外部/他(周辺	3 各政計内容に対して、順各側未務部口と言思かされている。 1)システム間インターフェース設計の確定 1)設計は確定しており顧察に承認を得ている。未確定部分がある。	場合は、期限と責任の所在が明確になっている。									
		1 設計は確定しており顧客に承認を得ている。未確定部分がある 2 未確定部分について、期限超過時の扱いが顧客と合意がとれて 3 各設計内容に対して、顧客側来務部門と合意がとれている。	NS.	0 0								
	3 サブシステム間	インターフェース設計の確定 1 設計は確定しており顧客に承認を得ている。未確定部分がある。	場合は、期限と責任の所在が明確になっている。	Ō								
	4 データベース(2 未確定部分について、期限超過時の扱いが顧客と合意がとれて 3 各設計内容に対して、顧客側業務部門と合意がとれている。 映画、854人の性や		0								
	4 7 - 3 1 - 2 1		場合は、期限と責任の所在が明確になっている。 いる。	0								
	5 システム機能制	2 未確定部分について、期限超過時の扱いが顧客と合意がとれて 3 各設計内容に対して、顧客側業務部門と合意がとれている。 設計の確定		8								
		1 設計は確定しており顧客に承認を得ている。未確定部分がある 2 未確定部分について、期限超過時の扱いが顧客と合意がとれて 3 各設計内容に対して、顧客側業務部門と合意がとれている。	場合は、期限と責任の所在が明確になっている。 いる。	0 0								
	6 方式設計(詳細	3 各設計内等に対して、顧客側乗務期門と含意がとれている。 10 検定 1 設計は確定しており願客に承認を得ている。未確定部分がある。 2 未確定部分について、現限超過時の扱いが顧客と含意がよれている。 3 設計に対して、顧客側乗務部門と合意がよれている。 4 設計について、検証内等と検証内害と検証制間(工程)が顧客と	場合け 期限と青年の所在が眼砕にかっている									
		2 未確定部分について、期限超過時の扱いが顧客と含意がとれて 3 設計に対して、顧客側業務部門と合意がとれている。	INS.	0								
	7 移行計画・設計	の確定	と合意がとれている。	0								
		1 移行計画書が策定されている。 2 移行設計が確定しており顧客に承認を得ている。未確定部分が 3 未確定部分について、期限超過時の扱いが顧客と合意がとれて	ある場合は、期限と責任の所在が明確になっている。	0								
3 内部設計仕様	1 システム処理制	計の確定										
		1 サブシステム分割後の個々の機能の詳細設計と検証が完了して 2 実行単位、実行プログラム、モジュールの詳細、インターフェース	いる。 、及び処理規則の設計と検証が完了している。	OP OP								
4 変更管理	1 要件、設計変更	3 共通ナストナータの卒舗が元 している。		OP.								
	1 SCITT EXPLISES	(安水) 1 外部環境変化(法的対応等)など、変更不可避なもの以外の変 2 仕様変更定義、変更要求の受け入れ判断を合意する会議体、ル 3 仕様変更定義、変更要求の受け入れ判断を合意する会議体、ル	更要求をクローズすることを顧客と合意する。 レール、決裁者、 費用の扱いについて、顧客と合意する。	0								
ト・タイム・マネジメ	ント	3 仕様変更定義、変更要求の受け入れ判断を合意する会議体、ル	ルール、決裁者、費用の扱いについて、パートナーと合意する。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	●P								
1 成果物	1 成果物の完了	1 当該期間で完善されている成果物が、全て期間内で作成空で	断定を認されている	OP								
2 プログラミング		1 当該期間で定義されている成果物が、全て期間内で作成完了、 2 開発PJの最終工程である場合、PJ完了報告書記載が完了して	服を承認されている。 いること。(又は、完了見通しがついていること)									
	1 コーディング			OP								
	2 ソースコードレ	ビュー 1 レビュー実施率:100% 2 指摘対応残件数:0件		OP OP								
3 単体テスト実施	他 1 単体テスト			OP								
	1 44770	1 テストケース消化率:100% 2 テスト結果検証率:100% 3 不具合対応残件数:0件		OP OP OP								
	2 単体テスト(デ-	3 不具合対応残件数:0件 - 夕移行ブログラム) 1 テストケース消化率:100%										
		1 テストケース消化率:100% 2 テスト結果検証率:100% 3 不具合対応残件数:0件		OP OP OP								
4 結合テスト実施	施 1 結合テスト											
		1 テストケース消化率:100% 2 テスト結果検証率:100%		OP OP OP								
	2 結合テスト(デー	2 イト・イー・イー・イー・イー・イー・イー・イー・イー・イー・イー・イー・イー・イー・										
		1 アイドケース月化率:100% 2 テスト結果検証率:100% 3 不具合対応残件数:0件		OP OP OP								
	3 他システム間に	5 マステム間に/Fテストケース消化率:100% 2 他システム間に/Fテスト結果検証率:100%										
		2 他システム間I/Fテスト結果検証率:100% 3 他システム間I/Fテスト不具合課題残件数:0件		O O OP								
5 システムテスト	・実施 1 システムテスト	1 = 7 L fe = 7 2 K IV 等 -100K		On								
		1 テストケース消化率:100% 2 テスト結果検証率:100% 3 不具合対応残件数:0件		OP OP OP								
	2 移行	1 移行リハーサル消化率:100% 2 移行リハーサル課題(不具合)残件数:0件		OP OP								
	3 外部接続テスト	2 移行リハーサル課題(不具合)残件数:0件 ・ 1 外部接続先テストケース消化率:100%		OP O								
		1) 外部接続先テストケース消化率:100% 2) 外部接続テスト結果検証率:100% 3) 外部接続テスト不具合課題残件数:0件		0 0 0P								
	4 非機能要件(性	:能テスト、障害テスト、連用テスト)の確認 1 非機能要件テストケース消化率・100%		0								
		2 非機能要件テスト結果検証率:100% 3 非機能要件テスト不具合課題残件数:0件		0								
6 本番検証	1 本番検証	1 本番検証率:100%(計画作業の完了)		OP								
ト・コスト・マネジメ 1 見通し	ント			Ор								
	1 コスト見诵し	1 これまでの実績を踏まえ、以降のコスト見直しが、実施されてい	5 - 2-6	•								
2 リスク対策費	1 リスクの原資											
ト品質マネジメント		1 リスクに対する対策原資が考慮されている。		-								
- 四只見計劃	1 品質評価結果	の妥当性検証 1 品質評価結果について、妥当性が検証されている。		● P								
	2 本番検証結果	2 面貝計価桁米について、服各に承認されている。 カ辺虫性会試		OP								
		1 本番検証結果、障害発生・対応状況、障害分析結果について、3 2 本番検証結果、障害発生・対応状況、障害分析結果の顧客報告	妥当性が検証されている。 が完了している。	●P OP								
2 障害					1							

6 プロジェク	クト人的資源マネジメント	$\overline{}$			1
	クト人的資盈マネジシト 体制・要員計画				
	1 休制・亜昌計画	-			
	1.P.Iの名工程において、どの時期にどれだけの悪量が必要が明確にかっており、手配の日達ができている	● P			
	PJの多工程において、どの時期にどれだけの要員が必要か明確になっており、手配の目途ができている。 ②要長のスキルが充足している。(業務知識、開発対徴)	●P			1
	2 調達計画				
	1 派遣委員、外部調達の計画が明確になっている。	_			
7 プロジェク		$\overline{}$			1
, ,,,,,,,	グ・リスケ・マネジメント 1 課題	-			
	1 課題(要件、技術、マネジメント)				
		OB.			1
	無乗決課題が収入。課題があった場合は、次工限への影響が見極められており、期限と責任の所在が明確になっている。 2 課題について、期限起告の扱いが顕帝となるがとれている。				-
	Z [課題について、	OP			
	2 課題(アプリケージンル名前、性地名原、選用品質) [1 実際大選節を対象性 (地名) [1 実際大選節を対象性 (地名) [1 実際大選節を対象) [2 地名) [2 地	OP			
	1 木房沢課題がない。課題があった場合は、刑限と責任の所任が明確になっている。	OP			
8 プロジェク	ケバ関連マネジメント プロダウ/以連管理				
	1 プロダクト調達管理				
	1 H/W、S/Wの選定				
	1 本番H/W、S/W構成が確定している。	0			
	2 開発H/W、S/W構成が確定している。	0			
	2 H/W, S/Wの発注	-			
	1 本番H/W、S/Wの発注が完了している。	0			
	2 開発H/W, S/Wの発注が完了している。	ŏ			1
9 開発基盤.	線。開発準備				1
	1 開発基盤、開発準備				
		$\overline{}$			1
	1 プログラミング~システムテストまでの環境が計画されている。	0			1
	フェノ・マン / フィリ の といんが # 1 mic コンス ** 10 mic フィス ** 10 mi	ŏ			1
	Z / 平智/T/R、S/TUZ前法、別大旅会の以外、伊京学出面ができている。 2 問題は Mar C AUAの報告 開発機能の選接の建築のはまたは年代による	_ × _			
	2 本着H-W、S/Wの原連、附発機器の環境の検索計画ができている。 3 開発H-W、S/Wの原連、開発機器の環境の検索計画ができている。	ŏ			

【分類】							
0	顧客共有						
•	PJ内部						
Р	パートナー共有						

●途上 【進捗】		●判定 【判定】		●未達 【進捗】					
前倒し		0	達成済み	0	前倒し(未達管理上の期限に対し。以下同様)				
0	予定通り	0	達成見込み (予定通り、工程開始、工程完了までに完了)	0	予定通り				
△ 遅延あり、キャッチアップ見込み (マスタースケジュールへの影響なし)		Δ	達成見込み (遅延、キャッチアップ見込み)	Δ	遅延あり、キャッチアップ見込み (マスタースケジュールへの影響なし)				
×	遅延あり、キャッチアップ困難 *1 (マスタースケジュールへの影響あり)	×	達成困難 *1	×	遅延あり、キャッチアップ困難 *1 (マスタースケジュールへの影響あり)				
-	評価時期未到来				評価時期未到来				
	課題なし	*1	*1 スケジュール変更、体制増強、機能削減等の根本対策が必要。 状況次第により経営レベルでの調整が必要。						
0	課題あり、解決見込み(リスク小)								
Δ	課題あり、解決見込み(リスク大)	1							
×	課題あり、解決困難 *1	1							
_	評価時期未到来								